

天真寺の秋 お彼岸法要のご報告 **お彼岸**



[左上] 午前中、あいにくの雨でしたが天真寺永代墓「やすらぎ堂」にて秋法要をおつとめました
 [左中] 午後からは秋彼岸法要を勤修
 [左下] 法要のようす～門信徒会 熊谷会長のご挨拶と弟子丸さんの司会
 [右上] 法要後、講師の福間義朝先生を囲んでの茶話会では皆さんと和やかな時間を過ごしました

9月23日秋分の日、秋彼岸法要を勤修しました。講師は広島福間先生で、茶話会では気軽に質問にもお答えくださいました。先生のご法話はお聴聞のたびに、阿弥陀さまに出遇えたよろこび、お念仏申す身にお育ていただいたしあわせを実感いたします。にぎやかな秋彼岸法要となったのも、参拝の皆さま、お手伝いくださった役員の方々の皆さまのおかげと感謝申し上げます。 合掌

募集中!



第9回 グランドゴルフ住職杯 開催



年に一度の住職杯開催です。初心者も大歓迎。貸出クラブもありますので、運動できる服装で、どなたでもお気軽にご参加ください。終了後、表彰式を行います。賞品を用意してお待ちしています。参加者募集中です!

【日時】11月4日(土) 午後1:30～3:30 【場所】天真寺駐車場

※雨天の場合は順延

今月の行事予定

● 印のある行事は オンライン生配信 します
 → <http://www.koumyou.net/tenshin>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 文化の日 ホウワライ 笑い×法話(築地)	4 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ住職杯
5 7:00日曜礼拝 ●	6	7 仏教情報センター 記念法要(築地)	8	9	10	11 9:00～12:00おみがき 報恩講法要(築地)～16日まで
12 7:00日曜礼拝 ●	13	14	15	16	17	18 13:30グランドゴルフ
19 7:00日曜礼拝 ●	20	21	22 【講師】赤井智顕師(兵庫)	23 勤労感謝の日 13:00門信徒会入門式 13:30報恩講法要 ●	24 役員の皆さま 12時にご集合 くださいます ようお願いします	25
26 7:00日曜礼拝 ●	27	28	29 11:00～16:30 駄菓子屋くるくる	30	<12月の予定> 20日法話会	

天ちゃんの一言

● アーユス仏教国際協力ネットワークを応援!

仏教系NGOで働く若者にメッセージを送りました。「光の届かないところにあかりを灯す」彼らの活動を全力で応援しています。天真寺はアーユス会員です。

● 仏事のご相談、お墓のお悩みはどうぞお気軽にご相談ください

- 永代合葬墓 やすらぎ堂 (松戸・大町やすらぎパーク内) 管理費なし
- 永代合葬墓 あんのん堂 (京都・親鸞聖人の廟所 大谷本廟内) 管理費なし
- 一時預かり 納骨堂 (天真寺2F) 年間管理費 1万2千円

● 「天真寺門信徒会」に入会し一緒に仏法を聞きませんか

毎月仏教冊子&寺報を送付しています。法話会やお盆・お彼岸など法要に自由にご参加いただけます。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186

● 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn

副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/



お寺の掲示板の言葉

傲慢な人には 心が固くなり
 謙虚な人には 心が柔らかくなる

光明を蒙(こうむ)りて
 その身に触れんもの
 身心柔軟(しんしんにゆうなん)にして
 天人に超過す(『仏説無量寿経』)



浄土真宗
 本願寺派

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ケ作106

TEL 047-389-0808

FAX 047-389-0790

www.tenshin.or.jp



報

法要



【日時】 11月23日 (木・勤労感謝の日)

午後1時半～3時半 『正信偈』おつとめ・法話 (60分1席)

【講師】 赤井 智 顕 師

(兵庫県西宮市 善教寺副住職・京都女子大学講師・相愛大学講師・本願寺派布教使)



前回大好評だった先生の待ちに待った再登壇です。若手No.1布教使の評判高い先生のお話です。ぜひぜひお聴聞くださいませ。

【場所】 天真寺本堂

オンライン参加
はこちらから



★オンラインでも参加可能です

<http://www.koumyou.net/tenshin>

天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます！

報恩講は宗祖・親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのご恩に報謝の思いでつとめる法要です。恩とは与えられた恵みや慈しみをいいます。私は命を恵まれ、多くの方のお育てをいただき、食物として他の命を奪って生きてます。それなのに私の口から出るのは不満と欲望ばかり。まさに「地獄は一定すみかぞかし」といわれる私の姿です。仏さまのお心に照らすと、私の本当の姿が見えてきます。そして、そんな私にかけられている恵みを知ると、自然に「南無阿弥陀仏」と手が合わる世界が開けてきます。報恩講は大切な法要です。年に一度、自分のすがたを省みて、「おかげさま」「ありがとう」と、お念仏の救いに遇えたことを慶びご一緒にお参りしましょう。

ご参加ください



門信徒会入門式

11月23日(木・祝)
午後1時～1時半(受付12時半)
お念珠・式章を贈呈

新しくお仲間となってくださった方をお迎えする式です。対象の方には招待状をお送りしておりますので、20日までにご返信ください。ご参加を心よりお待ちしております。

よろしく
お願いします

おみがき — お寺の仏具磨きにご協力ください —

11月11日(土) 午前9時～12時 多くの方のお手伝いが助かります！

報恩講を迎える前に、一年間使った本堂の塵や煤を払い、仏具を下ろして磨き直します。昼食は用意があります。汚れてもいい服装でお越しください。ご協力お願いいたします。



寄稿文「帰敬式を受けて人生を有意義に…」 門信徒 金田吉弘さん

梅雨明け前の7月15日曇天の日、築地本願寺で帰敬式を受式いたしました。当日は有給休暇を取り、少し早めに日比谷線築地駅に到着。門を通る際に一礼し、手水舎で手を洗い、境内を散歩し、記念写真を撮りながら時間まで過ごしました(見どころがたくさんです)。



そもそもなぜ帰敬式を受式しようと思うに至ったかと申しますと、昨年12月に霊園の管理人に転職し仏事に携わることになったからです。具体的には納骨や年忌法要に関わる業務を行っており、ご住職と関わる機会も多く、もっと仏教やその他の宗教についても知識を身に付けたいと思ったからです。



納骨の際は、骨壺を両手に抱えながら狭い入口を潜り、カロート内の玉砂利の上に安置して故人に小声で声をかけ、お送りさせていただいています。その背後にはご住職の読経が流れていたりしますが、産婆さんが赤ん坊を取り上げるのとは逆に故人をお墓にお納めするのはなんだか神聖な心持ちで、「今の自分でいいのかな？ 宗教家とは違うけれどせめて仏門に皈依してお送りした方が故人も喜ばれるんじゃないかな？」と、ふっと頭を過ったのがキッカケでした。

約30分前にご本堂に入り受付に向かいました。土曜日であったせいかたくさんの参拝者がいらっしゃいました。受付で名簿を見ると1番下に名前があり、思っていたよりも多くの方々が受式されるんだなあと思いながら受け取ったパスを首から下げて所定の席に座り、初めての本堂内をあちこち眺めていました。指定された席にはご年配のご夫婦が多く「一人の方は居ないのかなあ」と周囲を見渡していると、後方から「金田さあ〜ん」と聞き覚えのある声が聴こえ、振り返ると静香さんが駆け寄って来られ、同席のためにお越しになったとのこと。まさに阿弥陀様。南無阿弥陀仏。



午後2時から始まった宗祖聖人逮夜法要が終わり参拝者の多くが離席した後、引き続き帰敬式が始まりました。念珠や式章等が配られ席を移り、帰敬式の流れや作法について説明を受けリハーサルを行っている、明るかったお堂内が窓に暗幕が掛けられ照明も必要最小限となり、内陣以外はずっかり暗くなって荘厳な雰囲気になりました。「いよいよ始まるんだなあ」とやや高揚した気分になりました。



内陣奥から導師が現れ、合掌・礼拝。「南無帰依仏・南無帰依法・南無帰依僧」と三帰依を合唱し、再び合掌・礼拝。



その後におかみそりをいただき、法名を拝受いたしました。名簿では1番下でしたが名前を呼ばれたのは4番目で、法名の印刷された紙を席に持ち帰り裏面から透かして見ると「釋智深」となっていました。よく見かける法名は名前の一字と何らかの字を組み合わせたものが多く、名前と関係の無い法名がよかったです。結果オーライでしたが、説明を読むとまったくいらない法名をいただいたというのが正直な感想です。



その後、代表者が帰敬文を拝読し、導師のご教諭を拝聴して合掌・礼拝と続けました。人数が多く法名拝受に時間が掛かりましたが、式そのものは直ぐに終わり、当日は私を含め50の方が受式されました。

帰敬式後、本堂内で静香さんに記念写真を撮っていただいた後、境内にある人気のカフェに一人で立ち寄り抹茶ミルクをいただき帰宅の途につきました。

法名を授かり仕事に対する姿勢も幾分変わった気がいたします。生まれ変わった気持ちで残りの人生を有意義なものにしたいと思います。合掌

